

第三十五回柳川川柳学校報告

日時…令和四年四月四日(月)午後六時〜八時

場所…茶房 リエール

参加…伊藤・井口・魚森・亀池・菅田・妹尾・高谷・南部・横田・若槻／

久米田・辻川・吉原

今回は令和二年二月以来となる待望の対面授業となりました。久しぶりに会員が一同に会し、二年間の空白が一举に埋められました。今回より亀池さんが加わり会員数は十五名となります。今回は十四名からの投句があり、参加は十三名でした。久米田新校長及び第三十四回最優秀作品賞受賞の妹尾さんの挨拶から会はスタートしました。

菅田前校長は、教頭ならぬ鏡頭として引き続き生徒たちにご指導いただけることになっています。鏡頭の新コーナー「NANDA!? KANDAコーナー」今回は、佐藤勝重さん(毎日新聞客員編集委員)が出演する毎日放送ラジオ「しあわせの五・七・五」(毎週土曜日午前五時〜五時半放送)に投句された川柳を選りすぐった「ますます健康川柳」の紹介でした。

さて、人気投票の結果は次の通りです。

最優秀作品賞〜横田さん(課題句③)

優秀作品賞〜妹尾さん(自由句⑤) 久米田校長(自由句⑪)

校長賞〜高谷さん(自由句④)

受賞された皆様おめでとうございます。投句一覧は以下の通りです。お楽しみいただければ幸いです。



あっという間に予定の二時間が経過し辻川校長補佐の中締めとなりました。次回第三十六回は六月六日(月)夕刻です。また元気でお会いできればと思います。

自由句

- ① プーチン流お前の物は俺のモノ
- ② 今朝もまた朝日を待たず目が覚める
- ③ プーチンは一字違いでプーさんだ
- ④ 我先にトイレに駆け込む老夫婦く校長賞
- ⑤ 恐ロシヤプーチン様と新コロナく優秀作品
- ⑥ 接種後に絆創膏と風呂で会う
- ⑦ くもり止めいらなくなって春景色
- ⑧ 目が覚めただけで幸せ生きている！
- ⑨ 老いてなおドキドキ、スリルわれ男の子（おのこ）
- ⑩ この世去り何処で光る昭和の星
- ⑪ 耳遠く家内の小言は知らぬふりく優秀作品
- ⑫ 十八歳、親の許可無しナニをする
- ⑬ ランチ会箸止まりつつウクライナ
- ⑭ 日常を取り戻したい春の宵

課題句〜霞

- ① 前例で霞が関は御の字よ
- ② 年取れば春でなくても目は霞む
- ③ **霞でも食うしかないか総値上げ〜最優秀作品**
- ④ 古女房霞かかればいい女
- ⑤ 花霞わが眼もかすみ春ら・ら・ら
- ⑥ 霞食い八十路をすぎて米寿見え
- ⑦ かすみ目で夫婦円満あら見えず
- ⑧ 春うらら頭は年中春かすみ
- ⑨ 霞む目で見る妻の顔美しき
- ⑩ 仙人に尋ねてみたいどんな味？
- ⑪ 目はかすみ耳も遠くにぼけまじか
- ⑫ 春カスミ白内障の老夫婦
- ⑬ 「霞」って読めるんだけど書けねえや
- ⑭ 電気代あまりのアップに目もかすむ

作者①菅田一郎②亀池弘二③横田真理子④高谷 昇⑤妹尾信秀⑥若槻匡志⑦後藤啓子
⑧伊藤嘉之⑨魚森洋史⑩辻川登貴子⑪久米田真志⑫南部年克⑬井口三貴子⑭吉原司郎



(完)



令和二年二月以来の全員集合です。